

青果物



福岡県 JAみなみ筑後

『みかん、いちご等を香港、シンガポール等へ』

【主な品目】

みかん、いちご、米、ぶどう

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、台湾、アメリカ、タイ

【輸出取組の概要】

- ◆ 輸出国の輸入制度規制に対応し販路拡大・品目拡大に取り組む。
- ◆ 九州農産物通商(株)、行政、各農業団体と連携し、輸出の拡大に取り組む。
- ◆ 経済成長により日本農産物の需要が高まってきているアジアを中心に輸出。

【輸出実績】(平成21年度より輸出開始)

	輸出額(千円)	輸出量(kg)	出荷時期
平成30年度	1,910	900	みかん 9月から3月
平成29年度	4,825	16,436	いちご 11月から5月 (30年輸出無)
			米 通年 (30年輸出無)
平成28年度	3,350	6,105	ぶどう 4月下旬から10月上旬 (30年輸出無)

【輸出後に抱えた課題】

- 1 輸出国での知名度が低く、食味(糖度・酸味)の感覚違い。
- 2 輸出国の輸入規制制度変更への対応。
- 3 台湾と日本は使用農薬が異なる等、日本の農薬使用基準が適用できない。

【効果があった取組】

現地での試食販売することで、認知度アップ。

【生じた課題への対応】

- 1 輸出先国のバイヤーを園地に招聘及び現地での試食販売。
- 2 輸出業者との検討会開催及び輸出先国の現地調査実施。
- 3 輸出先の農薬残留基準との照合による防除暦の作成。

【対応の結果】

- 1 現地での情報収集、ニーズなどの把握により徐々に輸出量が増加。
- 2 国内他産地では輸出先国の園地等の未登録が多い中、生産園地と選果・梱包施設の登録に取り組むことで、体制をいち早く確立。
- 3 輸出に向けた生産者のモチベーション向上。

【今後の課題・展望】

- 1 国内需要が増加した場合、輸出量確保が困難になり、輸出先からの要望対応が困難。
- 2 生産コストの更なる低減と農家所得の向上に取り組む。
- 3 輸出品目の拡大(野菜・加工品)。

【ウェブサイト】 <http://www.minamickg-fk-ja.or.jp/>

【連絡先】 担当者名: JAみなみ筑後 営農部園芸課 谷川、TEL: 0944-63-8815



タイバンコク
セントラルワールド



台湾台北・新光三越



ハニービーナス生産園地